

## 細野委員による年金教材の企画・制作について

## 1. 趣旨

- 前回、検討会において提示された事務局案は、論点は網羅しているが、高校生に対し、実際に教えやすい教材とするには、なお工夫の余地があるという議論があった。
- 年金は、高校生にとって、身近に感じるものが少なく、教える側の大人にとっても、誤解の多い分野である。こうした点を考慮すると、生徒にとってわかりやすく、先生にとって使いやすい年金教材を、別途制作する意義は大きいと考えられる。

## 2. 仕様

- B4サイズで、表紙1枚、本体10枚。
- 左面にQ&A、右面に解説。
- 1枚につき、10分～20分程度の短時間で学習が可能。  
(まとめて数枚使用してもよいし、ホームルームなどのわずかな時間を活用することも可)
- 10枚で年金の主な論点をカバー（概要は次頁参照）
- 一目見て先生が「これ使ってみよう」と思えるもの、生徒が「何か面白そう、読んでみたい」と思えるものを目指す。

## 『高校生が知っておくべき将来の話』 概要

頁	タイトル案	概要案
1	「100才まで生きる」が 当たり前の時代に？	90才を超える人も増え、100才まで生きるのが珍しくない長生きの時代。長生きすればするほど老後の生活費は必要に。
2	高齢者になったら、どう生活 していけばいい？	老後には、終身の公的年金がそれなりの水準ではあるが、支給される。(必ずしも老後の生活費すべてをまかなえる訳ではない。)
3	そもそも、国の年金の 仕組みは？	日本は国民皆年金。 昔は、親を個々人で養っていたが、それを 社会化したものが今の年金。
4	そもそも、私たちの一生の 負担と給付は“人生トータル” で、どうなっているの？	子ども時代や高齢期の生活費などを負担するのは、自分自身？親や子ども、社会全体の役割についても年金から離れて考えてみよう。
5	そもそも、 どうして国の年金は、 「仕送り方式」なの？	年金をもらう50年後の状況は、予想することはできない。だからこそ、物価や賃金の変動にも強い「仕送り」方式の年金。
6	年金は「貯金」なの？ それとも「保険」なの？	年金は「保険」。長生きや障害などのリスクに備えるもの(損得ではない)。障害年金や遺族年金もあり(老後だけのものではない)。
7	年金の保険料を払わないと どういうことにな るんだろう？	未納者は、公的年金加入者全体の5%。 未納は、年金をもらえないだけでなく “税金の払い損”かつ“法律違反”
8	少子高齢化が進むと 年金はどうなるの？	今の年金は、少子高齢化を見越した「保険料 +税金+積立金」の、ハイブリッド型の設計。 現役世代の負担は上がりすぎない。
9	もし、年金がなかったら ・・・？	もしも、年金がなければ私的扶養に逆戻り。 (少子高齢化だからこそその公的年金)。
10	これからの社会を どう考えていけばいいのか？	「胴上げ・騎馬戦・肩車」を固定的に考えず、 支え手を増やすには？